

## ビューティー・プレミアム

大阪大学社会経済研究所

安井健悟(J)<sup>+</sup>

### 要旨

本論文では、容姿の良さがもたらす賃金の割増分という意味での「ビューティー・プレミアム」を計測した。これまでの研究と異なる点は、使用者の差別により引き起こされるプレミアム以外の部分、つまり、消費者の差別による部分と生産性による部分の合計のみを計測したことにある。分析に用いたデータは、外国語会話教師を紹介するインターネット上のサイトに登録されている英会話教師の情報である。

実証分析の結果、英会話教師の賃金においてビューティー・プレミアムが存在することが確認された。プレミアムの程度は、プライベート・レッスンの場合には、容姿の評価点が1標準偏差上がると賃金が3.26%上がり、グループ・レッスンでは2.95%上がる。また、Hamermesh and Biddle (1994)と同様に、「普通」よりも容姿が良くない人々の賃金が「普通」の人々の賃金よりも低いという意味でのアグリー・ペナルティーが、「普通」よりも容姿が良い人々のビューティー・プレミアムよりも大きいことが確認された。男女別のプレミアムをみると、女性教師のプライベート・レッスンでは4.25%、グループ・レッスンでは4.28%と、男性教師の2.75%、1.95%よりも大きいことが確認された。

### 参考文献

Daniel Hamermesh and Jeff Biddle, "Beauty and the Labor Market," *American Economic Review*, 84 (Dec. 1994): 1174-1194.

---

<sup>+</sup> 連絡先：〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 6-1 大阪大学 社会経済研究所  
E-mail : yasui@iser.osaka-u.ac.jp